

④ その他

神奈川県は帰国子女の生徒を積極的に受け入れており、その中で鶴嶺高校には日本語がまだ苦手な生徒も編入することも多く、帰国子女の生徒を積極的に受け入れている為、枠が空いている限りは比較的入りやすくなっているようです。そのため編入で入る際には簡単な作文と面接のみなので受験をするより簡単に入れる様子です。

さらに編入した後には、帰国子女の生徒のために取り出し授業というものがあり、勉強内容が追いつけていなくてもそこで追いつくまで授業をしてくれます。

6. 自分の受験勉強法

基本的に面接の準備、練習を中心に行っていました。面接では自分のことをいかに理解できているかが重要になってくるため、普段考えない自らのことを追求し、今までの生活を振り返ることをしました。そして先生や親、友達などに質問してもらうことで新たに何が自分でわかっていないかを発見し、考えておくというような準備を繰り返し行いました。作文は今までどんな題などが出されているかなどをリサーチし、時間を測りながら一度書いてみるという予行練習を行いました。

7. 学校生活の感想、アドバイス

その時その時のやるべきことをこなしておくことがやはり一番大切だと思います。そして勉強面だけでなく、友達との関わりや、普段の生活を時々振り返ってみておくことで、面接の際など簡単に答えられるようになると思います。

8. JPPCでの体験、感想

JPPCでは有田先生のジャパニーズの授業を受けていました。IBのための授業なので、作文を書いたり漢字を学ぶという基本的なものの他に、社会の動きを見たり、自分がどう考えるかが引き出され、今までに受けたことのないような授業でした。

しかしそのおかげで自主的に学んだり、社会の動きを積極的に知ろうとするようになりました。私自身を大きく変えてくれた授業でした。